

## <例 2 : 二次災害編>

### 全学年 学校行事「二次災害を伴う地震に対する避難訓練」

#### 1 目標

- 地震に対する避難訓練に真剣に取り組むことができる。
- 地震に関する情報をよく聞き、状況に応じた避難方法を判断することができる。
- 地震が発生した時の避難方法に沿って行動できる。
- 地震に対して適切で安全な避難経路や避難方法を理解する。

#### 2 避難訓練当日の想定

- ①日時 ( )月( )日( )曜日 ( )時( )分～( )時( )分
- ②想定震度 震度4(中震…家屋が激しく揺れ、棚の物や据わりの悪い瓶が倒れる程度)
- ③二次災害 火災発生
- ④場面設定 授業中(休憩中)
- ⑤避難場所 第1次避難場所

#### 3 指導内容

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| ○指示をよく聞く。         | ○黙って落ち着いて行動する。 |
| ○地震発生時の避難方法を理解する。 | ○指示に従って行動する。   |
| ○避難経路や避難方法を理解する。  | ○速やかに安全に行動する。  |

#### 4 学習の流れと本時案 (全1単位時間)

##### (1) 事前指導 (15分)

目標	地震発生時の危険と初期の基本行動を考え、安全な避難の仕方を知る。	備考
学習活動	教師の支援	
1 学習のめあてをもつ。 2 地震発生時の危険を考える。	○ 地震の恐ろしさを視覚的に理解させるために、地震の規模と被害を示す資料を提示する。	地震規模と被害を示す資料
3 地震発生時の基本行動を知る。 ○授業中(休憩中)に地震が発生した時の避難行動について理解する。	○ 自分のいる場所に応じた避難経路や避難行動を理解しやすくするために、校内の地図を掲示する。 ○ 避難行動に必要な心構えを分かりやすく説明するために、合い言葉(お・か・し・も)の徹底を図る。【押さない・駆け出さない・しゃべらない・もどらない】	地震発生時の基本行動を示す資料
4 避難方法を知る。 ○安全な避難方法や避難場所、避難経路などを理解する。	○ 命に関わる大事な学習なので、真剣に取り組むことを伝える。  ◇ 安全な避難方法や避難場所、避難経路などを理解できたか。	避難経路図

(2) 訓練 (15分)

目標	地震に対する避難訓練に真剣に取り組み、安全な避難方法を理解して行動する。	
学習活動	教師の支援	備考
<p>1 地震に気づき初期の避難行動をとる。</p> <p>2 校内放送を聞き、その指示に従って落ち着いて行動する。</p> <p>3 避難する。            ○並ぶ。            ○廊下階段を歩く。            ○合い言葉（お・か・し・も）の約束を守る。            ○運動場に出たら、上履きのまま数十メートル走って止まる。            ○人数確認を受ける。            ○再び避難場所まで走る。            ○整列する。            ○人数確認を受ける。            ○座って待つ。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内放送「これから避難訓練をします。」</li> <li>・地震の効果音を約60秒間、校内放送する。</li> <li>・校内放送「ただ今震度4の地震が発生しています。」</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導教師は、児童に机の下へ入る指示を出す。</li> <li>・火気の始末などをして避難口を確保する。</li> </ul> </div> <p>○ 頭部を守るために、体操服の入れ物や座布団、帽子等を使わせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震の効果音を止め、非常用サイレンを鳴らす。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内放送「地震のために、2校舎の家庭科室から火災が発生しました。児童の皆さんは、先生の指示に従って、避難場所へ落ち着いて避難しなさい。」</li> </ul> </div> <p>○ 校内放送をよく聞き取るために、動きを止めて放送の音が聞こえる方に向くようにさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導教師は児童に並ぶ指示を出す。</li> <li>・指導教師は児童名簿をもって児童を誘導する。</li> <li>・その他の教師は分担の仕事をする。</li> </ul> </div> <p>○ 途中で他のクラスに出会ったら、下学年を優先する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎から離れたら、人数確認をする。</li> </ul> </div> <p>○ 確実に人数確認をするために、指導教師は児童の肩に手を添えながら数える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導教師は児童を避難場所に整列させ、担任教師に引き継ぐ。</li> <li>・担任教師が人数確認をする。</li> <li>・担任は教頭に人員を報告する。「○年○組○名、避難しました。」</li> </ul> </div> <p>○ 確実に人数確認をするために、指導教師は児童の肩に手を添えながら数える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教頭は各クラスの安否と避難時間を記録する。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任教師は児童を座らせる。</li> <li>・担任教師は児童の健康状態を見て回り対処する。</li> </ul> </div> <p>○ 児童が落ち着くように、教師は声かけをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任外の教師は残留児童の確認や、緊急持ち出し物の搬出等の役割を果たし、避難場所に集まる。</li> </ul> </div> <p>○ 地震のこわさと避難訓練の大切さを知らせるため、具体的な出来事を紹介する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、第二次避難場所は、校長と教頭、教務が協議して決める。</li> <li>・教頭はラジオや関係諸機関から状況を把握する。</li> <li>・教職員は、被害状況により学校が地域の避難場</li> </ul> </div>	<p>警備会社へ連絡 消防署へ連絡 校内放送 地震の効果音</p> <p>非常用サイレン</p> <p>携帯スピーカー ストップウォッチ 避難場所に安全旗</p> <p>児童名簿 地区名簿 緊急連絡カード 救急バッグ 携帯電話 ラジオ</p>

4 避難場所で話を聞く。 ○校長先生の話聞く。 ○避難訓練担当の話聞く。 5 解散する。	所になることを認識しておき、初期の避難所運営と児童管理の任務を果たす。
	・校長先生に地震に関する訓話をしていただく。 ○ 今後の改善のために、避難方法でよかったを称揚し、改めるとよいことを指摘する。
	・上履きの汚れの処理を指示し、教室へ入らせる。

(3) 事後指導 (15分)

目標	避難方法について話し合い、避難訓練の反省をする。	
学習活動	教師の支援	備考
1 避難方法について話し合う。	○ これからの生活に生かすために、避難方法についてよかったことと改めたらよいことの視点で話し合わせる。	ワークシート  教師用反省用紙
2 避難訓練のまとめをする。	・避難訓練終了後、教職員の反省も行う。	

(評価)

- 児童の避難経路や避難方法は安全であったか。
- 教職員の役割分担は適切であったか。
- 避難訓練の計画・実施は適切であったか。

5 係分担

- 避難場所 (校長)
- 校内放送 (教務)
- 非常ベル (教務)
- 校舎の残留児童確認 (学年主任)
- 児童誘導 (指導教師)
- 保健室にいる児童の誘導 (養護教諭)
- 避難人数集約・避難時間測定・渉外 (教頭)
- 救護 (養護教諭)
- 緊急持ち出し物 (事務・教務)
- 校舎まわりの残留児童確認 (担任外教師)
- 避難場所での人数確認・児童管理 (担任)
- 緊急連絡カード・救急バック (養護教諭)